

ー常勤講師に格上げ！ー

教育実習が終わって勤務校での仕事が始まりました。

う〜ん、、、実習校(母校)とは全く違う・・・^_^

なんて感じながらも実習で得たことを試してみたり、反映させてみたり。

前にも増して楽しく授業ができるようになりました。

そして 10 月。

恩師(この時は職場の上司でもあります)に呼ばれます。

そして校長から辞令を渡されました。

「講師に補する」

非常勤講師から常勤講師に格上げが決まったのです🎉

常勤講師は普通の先生方と何ら変わらないのです。

給料も月給、ボーナスも出ます。

ただ年度単位の契約です。

この時点で言われたことは、

「平成 20 年 3 月末まではうちの学校ににいられるからね。」

と言うことでした。

このことは、実は非常勤講師の話をもらったときにもしてもらっていた話でした。

ほっとすると同時に益々やる気が出てきました。👑

生徒に「あつ苦しい！」と言われながらも、情熱をもって授業に臨みました。

さらに、生徒指導の仕事もすることになりました。

常勤講師になると、公務分掌という学校内の様々な仕事分担がつきます。

生徒指導というと、怖い先生が校門に立って・・・と言うようなイメージを持つ人が多いかもしれませんが、それだけが生徒指導ではないのです。生徒とたくさん関わり、時には悩みも聞きます。

生徒指導の仕事を始めて、私は目覚めるんです。

生徒ともっと話をしよう。悩みを聞こう。そして少しでも生徒の支えになれるような教師になろう。

現在の私の礎はここで出来上がったのです。

心の持ちようなのでしょう。時が経つにつて、色々な生徒が私の所に集まってきてくれるようになりました。色々な話をしました。実際、自分がつぶれちゃうのではないか、と思うような重い話もありました。

教科指導の他に教員としての新たな目標を見つけ、日々頑張っていました。

そんなある日、恩師に呼ばれました。

恩師はとても暗い、今までに見せたことの無いような顔をしていました・・・

そして校長室に連れられていきました。

そこで信じられないことを言われました。

校長: 船田さん、20 年の 3 月までいられるって言う話だったんだけど、19 年の 9 月までにしてくれないかな。

ふな: (驚きのあまり何も言えず・・・)

校長: 産休の先生が 9 月に復帰するって言うんだよ。当初は 20 年の 3 月までの予定だったんだけど。

私は元々産休^{ママ}補助で入りました。

なので、自分の意志とは関係なく、流動的な勤務だと言うことは分かっていました。

しかし、私は一念発起会社を辞めて来たわけです。^{なげ}

校長に責任があるわけでもありません。

しかし、年度途中でクビを切られてどうなるというのでしょうか。

色々なものを恨みました。自分のことも恨みました。

恨んでいても落ち込んでいてもどうにもなりません。

30 過ぎた男が無職というわけにも行きません。

だったら、と言うことで、年度途中の 9 月ではなく、19 年 3 月までで辞めようと決心し、就職活動を始めました。